

広島大学学術情報リポジトリ

Hiroshima University Institutional Repository

Title	ニュージーランドの高等学校教育における日本語教育 : ウェリントン地区の高等学校中心として
Author(s)	トレーシ ウォード,
Citation	日本語・日本文化研修プログラム研修レポート集 , 15期 : 127 - 141
Issue Date	2001-03-31
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00038913
Right	
Relation	



ニュージーランドの高等学校教育における日本語教育

- ウェリントン地区の高等学校中心として -

トレーシ・ウォード

1. はじめに

現在、ニュージーランドの高等学校で一番人気のある外国語は日本語だと言われる。ニュージーランドの高等学校は5年間である。9 学年生（高校1年生）から13 学年生（高校5年生）までである。日本の中学校2年生から高等学校3年生までと同じだ（資料1を参照）。私は高校1年生から日本語を勉強し始めた。そして、高校4年生の時、日本に来た。その時、日本へ行くことのできたニュージーランドの学生達はやはり日本に行くことのできないニュージーランドの学生達より日本語が上手にできると分かった。でも、ニュージーランドに帰った後、高校で日本語の勉強を続けたが、卒業した後に知識や技術がまだ充分ではないと思った。だから、ニュージーランドの高校ではどうやって日本語を教えているのか、誰が日本語を教えているのか、どうやって日本語教授法を改善することができるのかに興味がでてきた。

今年（2000年）広島大学に入って、日本語教授法について調べてみるのは、いい機会だと思ったので、ニュージーランド（特にウェリントン市）の高等教育における日本語教授法の研究を行うことにする。

2. ニュージーランドの高校の教育状態

ニュージーランドでは高校1年に入る時、学生が必修科目を勉強する以外に自分で選んだ選択科目も勉強しなければならない。殆ど、高校の選択科目には外国語がある。しかし、外国語がない学校もある。もしあれば、多分日本語は一つであるが、すべての高校で日本語を教えているわけではない。日本語の勉強を始めるのに一定の年齢がはっきり決まっている訳ではないが、多くの生徒は高校に入ってから習い始める。高校によっては、外国語として日本語を高校1年生前期から取らなければ、その後高校で受講できない（資料2を参照）。

NZの高校の5年間で日本語の授業の教材は読解、語彙、会話、聴解、文法、文型、作文、翻訳、書き取りから成り立っている。カリキュラムの指導基準は一応あるが、教師はそれに固執する必要はない。殆ど、教師には独自の方法で教材を工夫して、課程を修了するまでのすべての責任がかかっている。しかし、時間が少ないので、教師が重要なポイントだけを選び出して、生徒に教える。高校1年生から毎週4時間か5時間ぐらい日本

語を勉強する。一クラスの時間は50分である。

1998年に日本語を勉強する生徒達は「The Second Language Learning Project Evaluation」(SLLP)によると、高校では22376人が学んでいた。外国語の中で日本語を選んだ人の数が一番多かった。しかし、その結果は1996年より5000人くらい減った。高校生の全体人数が減ったからだ。

11月にニュージーランドの高校3年生と5年生は国内試験がある。だから、教師は何のテキストから教えてもいいのだが、国内試験の内容がだいたい決まったので、生徒に合格させるために試験の内容を教えなければ、合格が難しくなる。だから、動詞の「～ます」の形と「～は～です」の形などの文型を教えている。実際の会話で使われるような実用的な日本語ではない。だから、試験の内容は必ず教師の教え方が影響するはずだと思う。その上、ニュージーランドの貿易、政府、研究者、民間のイデオロギーも教授法の変化に影響されているはずだと思う。だから、日本語教育をどう教えたら良いかということが重要である。

3. 調査の方法

3.1 調査の目的

本研究の目的は、ニュージーランドの高校でどのように日本語が教えられているか、毎週高校で何時間くらい日本語を教えるか、誰が生徒に日本語を教えるか、現在の教授法は良いかどうかについて調査することである。

3.2 調査対象者

調査の対象となったのは、ニュージーランドのウェリントン地区の高等学校の日本語を教える教師のうち、教師20名であった。しかし、6名からしか戻ってこなかった。そのうち、一つの高校から「もう、うちの学校では日本語を教えていない」という手紙をもらった。

戻った調査の対象者はほとんどニュージーランドの大学からの卒業生である。

教師は、だいたいニュージーランドの高校の日本語を教える教師で、3つのカテゴリーに分けられる；

現在は高校で正規の訓練を受けた教師（日本人以外）がやとわれている。

非常勤の教師である。時々訓練を受けたが、十分ではない。

日本語を母国語とする人、つまり日本人の教師である。

ニュージーランドの日本語の教師はNZの大学からの卒業生か日本に何年間も住んだことのある人が多い。

しかし、生徒の人数、日本語の教師、限られた時間、教材の多さを考えた結果、たくさん問題が出る。例えば、正規の訓練を受けた教師は上手に教えられるが、日本人ではない

ので、発音、細かい点などをきちんと説明することができない。非常勤の教師は決められたテキストから教えることは問題ないが、それ以上は難しくなりそうだ。また、非常勤の教師と日本人の教師には生徒が言うことを聞かないという規律な問題があるそうである。

3.3 調査の時期

調査用紙は2000年4月にニュージーランドのウェリントン市の高等学校の教師に送った。7月ぐらいに戻って来た。

3.4 調査の内容（資料3を参照）

調査の対象者の母語は英語なので、今回の調査は英語で書いて送った。

ニュージーランドの高校の日本語教師の国籍はどこ？

生徒達はどのように日本語の勉強している？

毎週、何時間ぐらい生徒達が日本語の授業を受けている？

教師は授業以外にどのような手段で日本語を教える？

日本語の授業において、どんな視聴覚教具教材を使う？

学校で日本語を教える事と教えない事の利点と不利な点は何？

教師は生徒達に早めに日本語を教える事の利点は何？

3.5 回答方法

選択方式 / 英語で自由記述 / 順位法

4. 調査の結果と考察

調査の結果を表1と表2、グラフにした。

表1

グラフ	日本語の設置期間(年)	高校生の人数(人)	他の外国語数
学校1(————)	5-6	161-180	2
学校2(-----)	7-8	81-100	1
学校3(-----)	7-8	61-80	3
学校4(.....)	9-10	41-60	2
学校5(-----)	15+	141-160	5

表1が5つの高等学校の現在の日本語授業の状態を説明する。

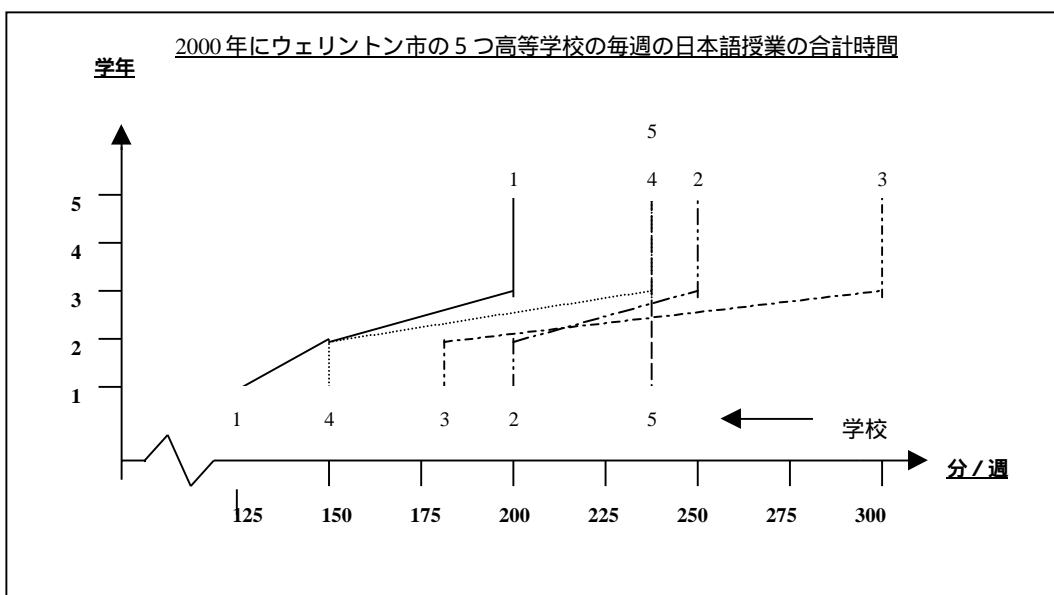
「学校1」は一つのウェリントンにある日本語を行っている高等学校である。また、「学校2」はもう一つのウェリントンにある日本語を行っている高等学校だ。(注：カッコ()に書いている線は次のグラフのキーのために書いた)

「日本語の設置期間」は一つの高校で何年間日本語を教えているかを表す。例えば、「学校5」は15年以上日本語を教えている。

「高校生の人数」は現在の日本語を勉強している高校生の人数を表す。例えば、「学校4」は高校1年生から高校5年生まで全員で41—60人ぐらいに日本語を教える。

最後に、「他の外国人数」は学校で日本語以外にいくつかの外国語が教えている。例えば、「学校3」は日本語以外に3つの外国語を教えている。つまり、全部で4つの外国語を教えている。

グラフ



グラフと表2は「学校1」から「学校5」までの合計の日本語授業の時間を表す。

表2

	高校1年生	高校2年生	高校3年生	高校4年生	高校5年生
学校1	125	150	200	200	200
学校2	200	200	250	250	250
学校3	180	180	300	300	300
学校4	150	150	240	240	240
学校5	240	240	240	240	240

(分/週)

「学校5」以外、高校3年生からの日本語授業の勉強時間は高校1・2年生と比べて、すいぶん増えている。「学校5」の全ての日本語授業は毎週240分である。

(注：高校1年生は、「学校1」と「学校5」以外、この調査の全ての学校の教える時間は40週/1年だった。「学校1」の高校1年生の授業は30週/1年だった。「学校5」の高校1年生の授業は20週/1年だった。)

その他の調査結果は次の通りである。

5人の教師は5年から17年の間日本語を勉強した。でも、その5人のうち3人だけが日本語能力試験レベル3を受けて合格した。本当は、高校5年生を卒業した後、生徒は日本語能力試験レベル3を合格すべきである。だから、教師のレベルは生徒より必ずもっと上のレベルである方がいいと思う。2級に合格ができないと、生徒にあまり上手に日本語を教えられないだろう。

教師は日本語を学ぶことの一歩の利点は文化的な教養が増えることと思われる。

高等学校で日本語を教えることの不利な点は低学年の授業の人数は多すぎることである。また、上級生の人数が少なすぎると思っている。でも、上級生になると、日本語を真面目に勉強したい生徒が残っているので、もっといい勉強ができると思う。

教師は高校に入るより早く日本語の勉強を始める方がいいと調査に答えた。小・中学生の覚える能力の方が早いからだ。しかし、小・中学生が自分で日本語を勉強したいと思わないと、すぐ飽きて諦める。そうすると、高校に入ってから、日本語を選ばない。前の日本語の勉強の思い出が辛かったからだ。

教師は日本語の聴解、読解、話す事、書く事もぜんぶ大切なので、順位をつけることができなかった。それは、いいことだと思う。しかし、高校は学問的な所なので、生徒の書く事と読解の能力の方が聴解と話す事の能力と比べて上手になる。つまり、生徒の強い点は読み書きである。

高校から使っている教科書は必ず仮名で書いている。ローマ字で書いている教科書を絶対に使ってはいけない。使うと、生徒は仮名や漢字になれないからだ。

最後に、5人の教師から2人だけが全身反応教授法 (Total Physical Response - TPR) を知っていた。しかし、自分で日本語を教える時、その教授法を使わない。生徒の考えと振る舞いがいつも変化しているので、教師は上手に教えたいと思うのなら昔の教授法だけ使っていてはいけない。新しい学年が始まる時、日本語教室の状態がすぐに分かれば、生徒にもっと上手に教えられるだろう。

この結果からニュージーランドの高校の教師について部分的に知る事ができた。全体的に教師の日本語のレベルは生徒とあまり変わらないので、自分の間違いを生徒に教えさせているだろう。だから、教師は本当に日本語を有効に教えたかったら、自分の日本語のレベルをもっと上げなければならない。そして、いつまでも新しい教授法を探して使ってみなければならない。

5. ニュージーランドの日本語教授法

次はニュージーランドの高校はどのように日本語の「書く」、「読む」、「話す」、「聞く」を生徒に教えるのかについて考える。

5.1 「書く」

現在、高校では日本語を勉強し始める時に教師はよく生徒に口 - マ字を教える。しかし、もし最初から仮名を教えないと、悪い癖が付く。しかし、高校3年生の国内試験に合格するために仮名と漢字を習わなければならない。しかし、習うのは嫌になるので、高校2年

生の後、日本語を諦める高校率が高くなりそうである。ちなみに、7・8 学年生達（中学校 1・2 年生）は日本語を勉強する時、10 週間で毎週、授業は一回 90 分ずつである。中学校 1・2 年生は高校生と比べて時間がもっと少ないので、カナと漢字を使わないで、ローマ字を使用する。発音、会話と聴解を重視するからだ。

生徒は仮名を書く勉強をけっこう楽しんでやる。しかし、ほとんど字が汚いし、書き順もよく間違えているそうである。この問題がよく出る。つまり、最初に平仮名と片仮名を習った時に、練習の時間が充分過ぎさなかったからだ。だから、その書く事の問題がおこらないために、教師はもっと時間を取って、書き順を紙で書いたり空中で書いて何回も繰り返して練習させなければならない。書き順が分かったら、字も自然にきれいになるそうである。もし、高校 1 年生に良い癖が付くと、漢字を習う時、漢字の書き順を覚えやすくなる。

5.2 「読む」

生徒は仮名を読めるので、授業中に読む練習を始める。最初、日本語で書いた短い文章からの節を皆の前で読まなければならない。同じ言葉や文法をいろいろな文章で使うと、少しずつ覚えられる。最初の時は恥ずかしいが、だんだん慣れて来る。そして、日本語を話す事も練習することができる。それと、皆の前で読むと、自分の声が恐くなくなる。

それから、静かに読む事も練習すると、テストがある時、指示や質問などを速く、精密に読むことができるようになる。

5.3 「話す」

ニュージーランドの高校では日本語を話す事は読む事と書く事と同じくらい大切な勉強だ。だから、教師は最初から基本的なフレーズを教えさせる。しかし、日本人ではない教師はやはり生徒に悪いアクセントや悪い癖が付けさせるかもしれない。生徒の発音が自然になるように日本人を授業に招待したりテープで日本人の声を録音したものを使ったりした方がいい。

高校生は会話を習う時、最初に自己紹介を学ぶ。その後、好きな事と嫌いな事、趣味やスポーツ、天気などについて話し方を勉強する。高校 3 年生から最近習った文法や語彙などを使って、自分で好きな話題を選んで、スピーチか会話をする。

5.4 「聞く」

普通、聞き取り練習の時、テープを使うが、教師が文章を読む場合もある。教師が最近、習い終わった日本語の文章と同じような文章を探し出して、関係した質問をいくつか書き出す。生徒のために質問を考えて出す。そして、生徒は 2・3 回聞かせた後、質問に答える。

それから、外国語教師が自分で教えている時、英語と日本語で生徒に指示を与える。しかし、全ての日本語教師が日本語と英語で両方で教えているわけではない。日本語で話すと、生徒は苦勞せずに、たくさんの新しい語彙や文法などを学ぶ事ができるからだ。とてもいい聞き取り練習だと思う。

次は、必ずニュージーランドの高校の日本語教室で使っている指示を与える文章である。

静かにして下さい。/静かに！！

出席を取ります。名前を呼ばれたら、「はい！」と返事して下さい。

ドアを開けて/閉めて下さい。

窓を開けて/閉めて下さい。

私が言うまでテストを見てはいけません。

日本語/英語で書いて下さい。

(注：レーキーとアンドに書かれていたものと筆者の経験から)

6. 新しい授法

ニュージーランドの高校では教室の中で教師が一番偉い人ではなくて、生徒と対等である。もちろん教師は授業を指導するが、生徒の行いによって、授業が途中で変わるかもしれない。教師と生徒の関係は友好的である。また、授業の雰囲気はけっこうリラックスしている。しかし、いつもそうではない。

6.1 ニュージーランドの高校生に日本語を上手に教えること

最初に教師は必ずニュージーランドの高校生の信頼を得なければならない。得ると、教師は生徒に言うことを聞かせられるそうである。

レーキーとアンドによると、教師は次の方法で生徒の信頼を得られる。これはとても一般的な文章なので、どんな場合にも必ずしも当てはまるとは限らない。

- 1) 日本語に対する熱意を見せてあげることが必要である。教師の熱意は絶対に生徒の日本語に対する勉強に影響する。つまり、教師の熱意が生徒に伝わると、高校生は日本語を好きになり、さらにもっと進んでいる勉強を頑張るようになる。
- 2) 教師はクラスに十分な準備をしなければならない。もしそうしなければ、生徒は授業を楽しむようにならない。そして、日本語の授業を嫌いになる。
- 3) 生徒にご褒美を与える。レーキーとアンドは褒美に5円玉を与えると、『教師に対して生徒は好意を(取りあえずはしばらくの間は)持つし、5円玉には真ん中に穴が空いているので、ペンダントを作って楽しむ』と書いた。しかし、ご褒美を与えれば、もらえない生徒の恨みを買う事にもなる。そうすると、クラスの雰囲気が暗くなってしまおうとレーキーとアンドは書いている。

次に、教師は生徒が勉強を十分にやった時に注意しなければならない。もしそうしなければ、高校生が新しい勉強でも、教師の言う事を全然聞いてくれない。勉強に飽きたからだ。その場合、教える方法を変えるか、全く違う事を始めさせる。そうすれば、高校生は退屈にならない。

それから、新しい事や難しい事を教えたい時、午前中の授業に教えさせた方がいい。ニュージーランドの高校生は午前に勉強すると理解率が高くなるらしいからだ。

レーキーとアンドは『NZの学校で日本語を教える日本人を何人か見て来ましたが、皆さん非常に丁寧であったり、楽しい授業にしようと精一杯やっているにもかかわらず、基本的な説明でさえも生徒には充分理解されずに終わってしまっている場合がたくさんあります。』と書いた。そのため、一年間で教師がたくさん教えられなかったり生徒が真面目に勉強でもなかったり、教師が授業の教材を済ませられなかったりする恐れがある。そのため、もし教師は生徒に日本語の勉強を分かってほしかったら、コミュニケーション能力が、生徒にきちんと教える際には必要である。

7. おわりに

私は1994年に高校を卒業した。その時、教師や教授法は今と比べて少し違った。例えば、日本人の教師の人数の方がニュージーランドの教師の人数より多かった。しかし、日本語は高校でとても人気のある科目なので、日本語で卒業する人が急に増えた。そして、学校には、ニュージーランドで卒業した教師は外国で卒業した教師と比べて、給料の方が安かったので、ニュージーランド人の教師の人数が増えた。そのため、1990年からニュージーランドでは日本人の教師の人数が減った。

調査からニュージーランド人の教師の日本語のレベルはまだ充分ではないことが分かった。私の高校1年生の日本語の教師もニュージーランド人だった。そして、勉強している間とてもいい教師だと思った。でも、止めた後、日本人の教師がうちの学校に来て、日本語の勉強を続けてくれた。そうすると、前のニュージーランド人の教師は本当にだめだったと分かった。だから、先に書いたが、教師は本当に日本語を有効に教えたかったら、自分の日本語のレベルをもっと上げなければならない。生徒の将来は自分の勉強だけではなく、教師の教授法にもよる。だから、教師も先生になった後、自分の日本語の勉強を続けた方がいいだろう。教える前、いつか日本語能力試験の1・2級を受けて合格した方がいいだろう。それと、教える時も、自分の日本語のレベルを知るために、2年1回は能力試験をまた受けてみる方がいいだろう。

もし、ニュージーランドの高校生の日本語能力が上達させたいなら：

教師の自分のレベルを上げなければならない。

生徒の半分ぐらいが授業の内容を分かってからでないと、新しい話題に始めない。

高校1年生と2年生に仮名の書き順をきちんと教えさせる。

授業に会話を練習する時、生徒が日本人の発音やアクセント、トーンなどを耳になれるなれるさせるために、日本人をその授業に招待して方がいいだろう。そうすれば、生徒のアクセントがそんなにニュージーランドっぽくならないかもしれない。

仮名が読めたら、読解の練習をすぐ始める。

最後に、ニュージーランドの日本語の教師の日本語を教える目的は、5年間で生徒の日本語能力レベルが自分のレベルと一緒にになるか、それに近くになることだろう。時間が少ないが、できるだろう。2・3年間日本に住んだら、上手になるので、5年間高校で勉強したら無理ではないだろう。

参考文献

- 1) 日暮嘉子 (1998) 「Elementary Functional Japanese: Intercultural Communication Volume 1 – 初級実践日本語1」アルク,東京
- 2) Peddie, R., Gunn, C. & Lewis, M. (1999) “Starting Younger: The Second Language Learning Project Evaluation – Final Report ” Auckland Uniservices Ltd., Auckland
- 3) Reekie, J. & Ando, E. (1998) “Talk About Teaching ” Craig Printing Co. Ltd., Invercargill

資料

ℓ ニュージーランドの教育システム（資料 1）

3—4 才： 幼稚園 (Kindergarten)
プレイセンター (Play Centre)

義務教育：

5—10 才： 小学校 (Primary School)
11—12 才： 中学校 (Intermediate School)
13—17 才 / 18 才： 高等学校 (Secondary School/College)
18 才から： 大学 (University)
専門大学か専門学校 (Polytechnic)

ℓ 学期制（資料 2）

1 月—3 月： 一学期 (Term 1)
(2 週間休み)
4 月—6 月： 二学期 (Term 2)
(2 週間休み)
7 月—9 月： 三学期 (Term 3)
(2 週間休み)
9 月—12 月： 四学期 (Term 4)
(6 週間休み)

ℓ 調査（資料 3）

PART A: SCHOOLS WHICH TEACH JAPANESE

3. Please tick which type of school you are.

Primary School Primary & Intermediate School Intermediate School
Intermediate & Secondary School Secondary School
Primary, Intermediate & Secondary School

4. How long has the Japanese Language been available as a subject at your school?

1~2 Years 3~4 Years 5~6 Years 7~8 Years
9~10 Years 11~12 Years 13~14 Years 15 Years +

5. Please state which Years are offered Japanese at your school.

Year 1~2 Year 3 Year 4 Year 5 Year 6 Year 7
Year 8 Year 9 Year 10 Year 11 Year 12 Year 13

6. How many students are learning the Japanese Language this year at your school?

Less than 20 21~40 41~60 61~80 81~100
 101~120 121~140 141~160 161~180 181+

7. How many Japanese classes are taught in each Year and for how long? Eg:

Year (No. of Classes)	Hours x Min./Week	Length
Year 7 (2)	3 x 55 Min./Week	20 Weeks
Year 12 (1)	4 x 55 Min./Week	Full year

Year 1 ()	x Min./Week	
Year 2 ()	x Min./Week	
Year 3 ()	x Min./Week	
Year 4 ()	x Min./Week	
Year 5 ()	x Min./Week	
Year 6 ()	x Min./Week	
Year 7 ()	x Min./Week	
Year 8 ()	x Min./Week	
Year 9 ()	x Min./Week	
Year 10 ()	x Min./Week	
Year 11 ()	x Min./Week	
Year 12 ()	x Min./Week	
Year 13 ()	x Min./Week	

8. What other languages are offered at your school?

Maori German French Samoan Chinese Mandarin
 Latin Other, please specify:

9. Are **YOU** the Japanese Teacher at the school stated in question One?

Yes No

If you answered "Yes", please go on to **Q8**. If you answered "No", please go on to **Q24**. **NB:** You may want to ask people in the Japanese Language department to help with some of the questions in the latter part of this section, if you are not the Japanese Teacher.

1 0. How long have you been teaching the Japanese Language for?

1 1. How long have you been teaching the Japanese Language at your present school for?

1 2. Are you of Japanese origin?

Yes No

If you answered "Yes", please go on to **Q16**. If you answered "No", please go on to **Q11**.

1 3. Please state your Nationality.

1 4. How long have you been studying the Japanese Language?

1 5. Please rank your own Japanese level ability. For Instance: Japanese Proficiency Level One – 1999 or Learning the Language as you are teaching it.

1 6. What are your reasons for teaching the Language at your school? Please be specific.

1 7. Do you feel the Japanese Level could be improved at your school? How?

Yes No

If you answered **Q11 to Q15**, please go on to **Q28**.

- 1 8. How long have you been in New Zealand?
- 1 9. How long have you been teaching at your present school?
- 2 0. How long do you intend to continue working at your present school? Why?
- 2 1. What were your initial reasons for wanting to come to New Zealand?
- 2 2. How do you mainly communicate with your students during class? Why?
- Japanese English Other; please specify
- 2 3. How do mainly communicate with your students outside class time? Why?
- Japanese English Other; please specify
- 2 4. How good do you feel the Japanese Level is amongst the students in your school?
- 2 5. Do you feel that the Japanese Level could be improved in your School? How?
- Yes No

If you answered **Q16 to Q23**, please go on to **Q28**.

- 2 6. What position do you hold in your school?
- 2 7. What relationship does your position have with the Japanese Language department?
- 2 8. Please express the good and the bad points of the Japanese department that you have noticed in your school. Please be specific.
- 2 9. Do you feel the Japanese Language could be improved in your school? How?
- Yes No
- 3 0. What do you consider to be the main advantages and disadvantages of students learning Japanese in your school?

ADVANTAGES

DISADVANTAGES

- 3 1. Do you think the Japanese Language offered in your school is beneficial to the students? Why/Why Not?
- Yes No
- 3 2. How important do you think the learning of a Foreign Language, in particular Japanese, is in Primary & Intermediate Schools today? Why?
- 3 3. Do you think it should be compulsory for all schools to offer at least one Foreign Language in Primary & Intermediate Schools? Why/Why Not?
- Yes No
- 3 4. If a Foreign Language is offered at a Primary or Intermediate School, do you think the language should be compulsory, available to all who choose, or should the school select the students? Why? If you think a school should select, how?
- 3 5. What is **YOUR** opinion on Foreign Language classes being taught from an early age in School Education? Why?
- 3 6. From your own observation, what has been the main difference between students who start learning Japanese in Primary School to those who start learning Japanese in Secondary School? Please tick those appropriate:

Pronunciation is clearer Writing is more fluent Listening ability is better
 Reading ability is stronger More determination to Study the Language
 Greater interest for Japan Other: Please Specify Below:

- 3 7. Do **YOU** feel that it would be more beneficial for children in lower levels (Primary & Intermediate Levels) of education to be taught a Foreign Language in a short 6-week course or in one-year blocks? Why/Why Not?
- 3 8. Would you like to add any other comments about when, what, how and if a foreign language (in Particular Japanese) should be introduced in to the lower levels (Primary & Intermediate Levels) of school education?

PART B: TEACHING OBSERVATION

- a. How would you rate the need for the following skills amongst your students? (Please rank from 1 to 4, 1 = Most Important & 4 = Least Important)

Writing Reading Listening Speaking

- b. Please indicate as specifically as possible what types of resources are used to teach the foreign languages in your school. (You may tick as many as you like)

Textbooks (For the Japanese Classes, please state the name of the texts you use)

Computers, Please tick, which programs you use below;

Teacher-made-programs CD - R o m The Internet
 e - mail links, etc. Other interactive programs ,

For the Japanese Classes, please state below the names of the programs used above.

T.V Programmes/Video

Card Games/Memory Games

Slides/Photos

Radio/Tapes

Other Resources, please state below

If you answered **Part A**, please go on to **Q3**. If you answered **Part B**, please go on to **Q5**.

- c. The textbooks that you use, are they mainly written in:

R o m a j i Half Romaji/Half Japanese Writing Japanese Writing

- d. In your opinion, should school textbooks always be in "Romanised" form?

Y e s No

- 4.1 **If YES**, what are the reasons for the above answer? (You may tick more than one)

Easier and more effective for the students to master the Japanese Language

The course duration is too short to teach Katakana, Hiragana and Kanji

My main objective is to get the student's communication skills developed

Others, Please Specify Below:

4.2 **If NO**, what are the reasons for your answer in **Q3**? (You may tick more than one)

By using the "Romanised" form it will affect the correct pronunciation of the student's Japanese

I think it is more important for students to learn Katakana, Hiragana and Kanji first because otherwise there will be confusion later on when it is introduced

Other, Please Specify Below:

e、 What topics are taught in the Foreign Language Classes? (You may tick more than one)

Lifestyle	Tourist Spots	Science and Technology	Sport	
Food	Music	History	Education	Art
Religion	Agriculture	Transportation	Geography	
Culture	Economy	Other, please specify below.		

f、 Besides classroom teaching, what other activities do the students experience?

Learning traditional parts of the culture (For instance; Japanese Tea Ceremony, Traditional Japanese Dances, Floral Arrangements, etc)

Involved with "Home-stay" Exchange Programmes

School trips (Not an Exchange Programme) to the country of the Language being learnt

Visiting (For instance; Japanese Companies, Cultural Centers, Embassies)

Other, please specify below

g、 Have you heard of the teaching aid Total Physical Response (TPR) before?

Yes No

If your answer to **Q7** was **YES**, please go on to **Q8**. If your answer to **Q7** was **NO**, please go on to **Q10**.

- h、 What are your opinions on using TPR as a teaching aid when teaching a Foreign Language?
- i、 Do you think it would be worth while using TPR as a teaching aid in NZ schools, especially when teaching Foreign Languages to beginner students? Why/Why Not?
- j、 Finally, What is the most developed skill amongst the language students at your school? You may tick more than one, but please explain below, **WHY** each one is the most developed.

Writing/Grammar

Hand-Writing

Speaking

Listening

Pronunciation

Vocabulary

Reading

Thank you very much for spending your time on completing this survey. It will be a great help to me in completing my assigned work. Thank you very much.